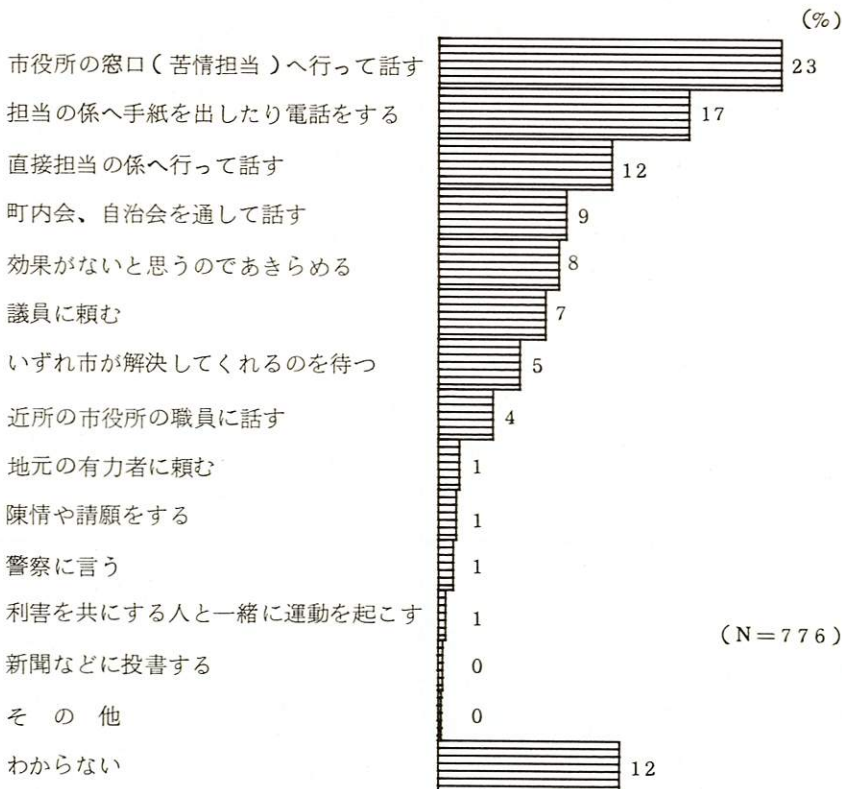


6. 市政への市民参加

6-1 要望、苦情の解決方法

Q 8. [カード] あなたは、市政に要望や苦情がある場合、まずどのような方法で解決したいと思いますか、この中から1つだけあげてください。

図6-1. 要望、苦情の解決方法



市政に要望や苦情があった場合のその解決方法については、「市役所の窓口(苦情担当)へ行って話す」(23%)、「担当の係へ手紙を出したり電話をする」(17%)、「直接担当の係へ行って話す」(12%)などの直接、市役所に働きかけるものへの回答が高くなっており、市民の積極的な態度がうかがえる。一方、「町内会、自治会を通して話す」(9%)、「議員に頼む」(7%)、「近所の市役所の職員に話す」(4%)などの間接的な手段を用いようとする市民は19%いる。なお、「効果がないと思うのであきらめる」の消極的な態度の市民は8%であった。

性・年齢別にみると、「市役所の窓口(苦情担当)へ行って話す」は男性の60歳以上に高くなっている

表 6-1. 要望、苦情の解決方法（性・年齢別）（職業別）

（％）

	担当の係へ手紙を出す 出した係へ電話する	直接担当の係へ行って話す	近所の市役所の職員に話す	市役所の窓口へ行って話す	町内会、自治会を通して話す	陳情や請願をする	議員に頼む	地元の有力者に頼む	利害を共にする人と運動を起こす	新聞などに投書する	警察に言う	いづれ市が解決してくれるのを待つ	効果がないと思うのであきらめる	その他の	わからない
N = 776	17	11	4	23	9	1	7	1	1	0	1	5	8	0	12
男（小計）（373）	17	14	2	24	8	0	8	2	0	1	1	6	8	—	9
20代（86）	17	7	2	24	2	—	5	2	1	2	1	11	15	—	9
30代（87）	20	17	5	24	9	—	1	1	—	—	—	3	12	—	8
40代（73）	16	16	3	19	12	—	10	4	—	—	1	4	7	—	7
50代（71）	25	13	—	23	10	1	7	—	—	—	3	6	3	—	10
60歳以上（56）	5	16	2	32	4	—	21	—	—	—	—	4	2	—	14
女（小計）（403）	16	9	5	21	9	2	7	1	1	—	1	5	8	1	14
20代（97）	26	5	7	23	6	1	2	—	1	—	1	6	5	—	17
30代（89）	18	7	2	24	9	5	5	1	2	—	1	6	14	1	7
40代（95）	12	12	5	21	15	2	7	1	—	—	2	4	6	—	13
50代（64）	13	17	5	14	8	2	14	—	—	—	—	5	9	—	14
60歳以上（58）	7	9	3	24	9	—	7	5	—	—	—	5	3	2	26
自営業（家族従業員含む）（110）	20	14	4	19	6	1	13	2	1	1	1	5	6	—	8
事務・技術系勤め（221）	20	11	5	24	8	2	4	1	1	1	1	5	10	1	10
労務系勤め（197）	12	14	3	24	11	1	5	1	1	—	2	8	6	—	13
無職の主婦（163）	17	9	3	22	9	1	10	1	1	—	—	3	10	—	15
その他の（85）	13	8	5	24	8	—	9	4	—	—	1	8	5	1	14

ことが1つの特徴としてあげられる。「担当の係へ手紙を出したり電話をする」は男性で50代に、女性では20代にそれぞれ高くなっている。一方、「効果がないと思うのであきらめる」の消極的な態度をとるのは、男性では20代、女性では30代に多くなっている。職業別にみると、大きな差はみられないが、「担当の係へ手紙を出したり電話をする」が自営業、事務・技術系勤めにやや多くなっており、また、自営業は「議員に頼む」もやや多く、地域との関わりを示している。

6-2 市政への参加意向

Q 9. [カード] 「市政への市民参加」ということが言われていますが、あなたは、何らかの方法で市政に参加したいと思いますか。この中であなたのお気持ちに一番近いものはどれでしょうか。

図 6-2. 市政への参加意向



何らかの方法で市政に参加したいか、どうかを答えてもらった結果、「積極的に参加したい」は2%、「機会があれば参加したい」は34%、「求められれば参加したい」は33%で、積極的に、あるいは、消極的であるにしろ、参加意向を持つ市民は69%で7割である。従って、参加意向のない市民31%で3割である。

地域別で参加意向をみると、Gブロック(78%)で最も高くなっており、Aブロック(49%)、Bブロック(60%)で低くなっている。

性・年齢別では、男性の方にやや参加意向が強くなっているが、20代は弱い。女性の場合、60歳以上で極端に低く、市政への関心が薄れていることを示し、男性の60歳以上とは異なる傾向にある。職業別では、自営業に参加意向が高くなっていることが、特徴としてあげられる。

図 6-3. 市政への参加意向 (地域別)



図 6-4. 市政への参加意向 (性・年齢別)

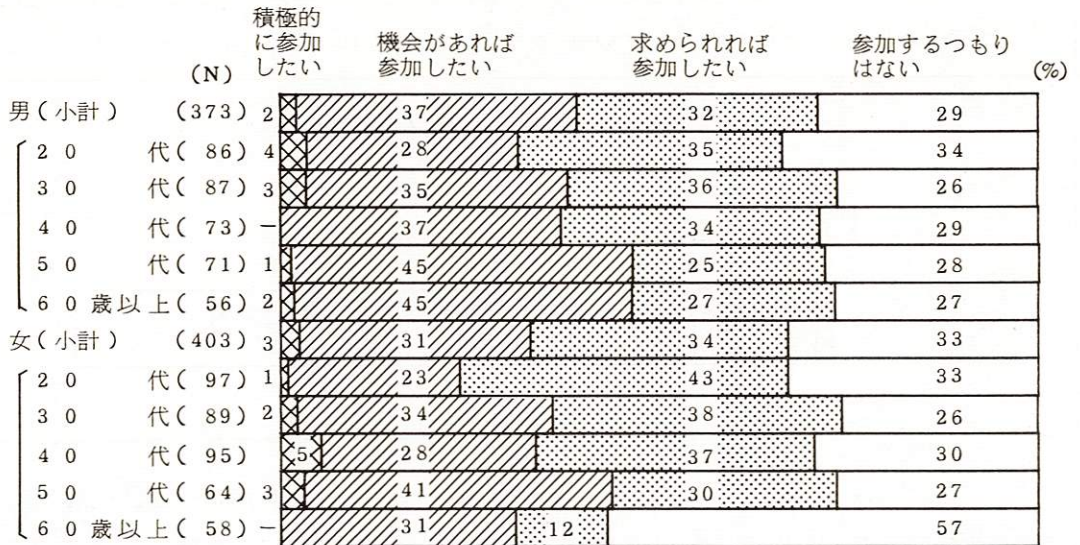
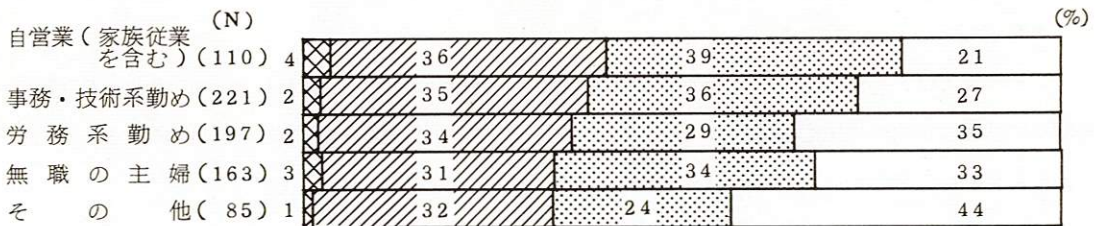


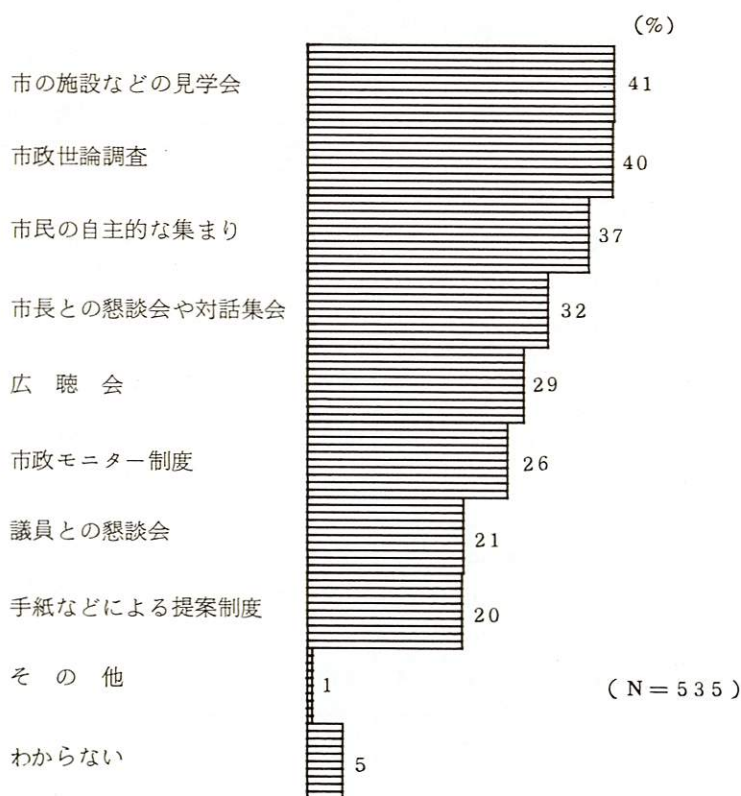
図 6-5. " (職業別)



6-3 市政への参加方法

9-1. [カード] それでは、「市民参加」の方法としては、あなたは、どんな方法を望みますか。
この中から3つあげてください。(M. A.)

図6-6. 市政への参加方法



Q9で参加意向のある市民にさらに、その方法を答えてもらった。最も多いものは、「市の施設などの見学会」41%で、次いで「市政世論調査」40%、「市民の自主的な集まり」37%、「市長との懇談会や対話集会」32%と続いている。

性・年齢別にみると、まず、男性と女性とを比較した場合、男性は「市政モニター制度」(男性32%、女性21%)、「市長との懇談会や対話集会」(男性38%、女性26%)、「議員との懇談会」(男性26%、女性15%)などで女性を大きく上回っており、市長や議員との接触を求めている。一方、女性は「市の施設などの見学会」(男性34%、女性47%)、「市民の自主的な集まり」(男性31%、女性44%)などで男性を大きく上回っており、男性と女性では参加方法に対する考えの違いを示している。職業別でみた場合の特徴としては、自営業に「議員との懇談会」(30%)、主婦に「市の施設などの見学会」、「市民の自主的な集まり」(48%)が多くなっていることがあげられる。参加意向別にみると、積極的な

参加意向を持っている人は、市長や議員との接触を求めており、一方、消極的な参加意向を持っている人は、「市政世論調査」の受動的な参加を望んでいる。

表 6-2. 市政への参加方法 (性・年齢別)(職業別)(参加意向別)

(%)

		市政 世論 調査	市制 度 モ ニ タ ー	手 紙 提 案 に 制 度 よ	市 の 見 学 施 設 会 な ど	市 会 や 対 話 集 談 会	議 会 と の 懇 談	広 聴 会	市 民 の 集 まり 自 主 的	そ の 他	わ か ら な い
N = 535		40	26	20	41	32	21	29	37	1	5
男 (小計)	(265)	43	32	22	34	38	26	32	31	1	3
20代	(57)	56	35	35	28	33	21	32	37	—	2
30代	(64)	41	38	19	38	41	16	34	31	2	2
40代	(52)	39	37	17	33	35	27	35	33	2	2
50代	(51)	43	29	20	35	37	29	29	24	—	8
60歳以上	(41)	37	15	17	34	46	46	29	27	—	2
女 (小計)	(270)	37	21	19	47	26	15	25	44	0	6
20代	(65)	49	26	35	37	19	6	19	48	—	3
30代	(66)	44	24	14	49	29	14	24	42	—	5
40代	(67)	30	22	15	57	24	18	30	45	—	6
50代	(47)	30	17	11	47	30	19	23	36	2	11
60歳以上	(25)	24	4	16	48	32	24	36	48	—	12
自営業(家族従業員含む)	(87)	38	28	18	36	37	30	25	37	1	2
事務・技術系勤め	(162)	46	31	23	40	28	17	36	30	—	4
労務系勤め	(128)	33	28	20	41	35	23	31	38	1	5
無職の主婦	(110)	41	23	16	48	27	12	21	48	1	6
その他	(48)	44	13	27	33	38	29	19	35	—	8
積極的に参加したい	(18)	17	11	28	39	67	39	33	44	—	—
機会があれば参加したい	(261)	37	28	18	45	40	28	32	41	0	2
求められれば参加したい	(256)	46	26	23	36	21	12	25	33	1	7